

紬織物のデザイン試作

繊維工業指導所

図案部 渡辺 豊
技術指導部 望月 政夫

1. 緒言

きもの業界は本物志向の流れの中で、フォーマル化、高級化が進みカジュアルきものにとっては、一部の商品を除いて年々減少傾向を続け、きわめて厳しい状況にある。産地としても需要回復のため、消費動向にマッチしたオリジナル性の高いデザイン開発が切望されている。そこで、本年度は次のようなデザイン開発を行った。

いしげ結城紬については、現代的センスを加味した商品開発により、オリジナルきもの需要を幅広く開拓するため、大丸本社デザイン室の支援を得て、結城郡織物協同組合と共同で、従来に代わるデザインを考案・選定し、刺繍、絞り染めなどの併用加工を施した新しいデザインと新製品の開発を行った。

本場結城紬には、高級化志向に対応した200亀甲細工かすりの作図プログラムを開発し、図案作成の合理化を図った。

2. 内容

1) いしげ結城紬のデザイン試作

英国の伝統的パターンであるペーズリー柄をメインモチーフに、かすり柄、幾何柄との組合せや、ゴールド（金糸）使いなどで、伝統的な高雅さ、大人の気品あるエスニックを表現した。

また、付加価値を持たせ、より陰影深い表現の手段として、産地伝統的技法のかすり模様を絞り染めや刺繍などの併用を試み、パーティや茶会などに着られる訪問着用のデザインを開発した。

(ア) クリムゾン（深紅）……時代がかった赤系、ガーネット、ボルドー。

(イ) 黄金……秋の風景をイメージする落葉や麦の黄色、からし色、実りの色。

(ウ) ダークカラー……冬の森や沼をイメージする深い青緑色、グレイッシュなダークカラー。

2) 200亀甲細工かすり作図プログラムの開発

(ア) データ領域の拡大（ファイルの拡大）

・レイアウトワーク領域の拡大（かすり割付の仮領域）

・かすり割付データ登録領域の拡大

(イ) ソフト的な面

・レイアウト結果データ（かすり割付仮データ）登録のプログラム作成

・高精度化のため入力データ有効桁数の拡大

・その他

(ウ) 自動製図機作図用データ作成プログラムの改良

以上3項目について、200 亀甲かすりの作図をするのに必要な項目をチェックし、プログラムを開発改良した。

3. 結果

1) 共同で試作したいしげ結城紬の新製品は、「クラシカル・エスノ」を開発テーマに、京都市産業会館において求評展示会を開催し、問屋、百貨店、専門店の担当者より高い評価を受け、今後のデザイン開発意欲の向上に役立った。

2) 高精度化を図るため、経系ピッチ、緯系ピッチ、ピッチレイショウの有効桁数を増やした。そのため、図案の幅の計算長と作図長が一致し、作図精度があがり、好結果を得ることができた。また、送り1尺の長さの図案を作図できるようになったため、人手によっては、かなりの手間と日数の掛かるようなものでも、1日で仕上がり、能率の面でも、非常に好結果が得られた。

4. 結言

いしげ結城紬デザイン開発については、今回の求評展示会の結果をもとに、さらに、高付加価値、高級感覚のものの中じとしたデザイン開発に共同で取り組み、需要の拡大を図っていく考えである。

本場結城紬については、200 亀甲細工かすりプログラムの開発により、ハイグレードなデザイン作成が可能となったので、CADシステムを活用し、産地の特徴を備えた独創性あるデザイン試作を実施していく。